

皆さんに聴きました

私たちが聴きました

議会広報委員会が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、意見や思いを聞きます。今回は「吉岡町で働き続けるために」をテーマに吉岡町で活躍している起業・自営されている人にお話をお聴きしました。



あきやま みつひろ
秋山 光浩 議員



こばやし しずや
小林 静弥 議員



皆さん各々が専門分野で働いていますが、他業種間でも情報を共有しておくことが重要と考えます。それが『ワンフォーオール オールフォーワン』に繋がるはずです。
(30代男性 町内自営業)

農業に従事してまだ間もなく、十分な設備投資がまだまだおぼつきませんが、先輩農家さんから機械や道具をお借りできたりアドバイスをいただける環境に、本当に感謝しています。
(30代男性 新米農業従事者)

地域密着型で、良いものを早く提供することを心掛けているので受注の機会も多く、継続して会社を維持していけるので経済活動がしやすいです。
(30代男性 外構プランナー)

バイパス沿いに店舗を構えたため車の往来が多く来店につながっています。循環型社会で、地域経済を回す仕組みがあれば良いと思います。
(30代男性 理学療法士)

タウン誌・ゴルフ情報誌・名刺などの依頼を受けています。吉岡町が活気ある町なので、起業されるかたや移転して来る企業と共に盛り上げて行きたいと思っています。
(60代男性 印刷事業)

町の潜在能力が高いので、なんでもできそうな可能性があると思います。まずは地元の人たちに知ってもらい、町外の人が吉岡に来るきっかけになりたいです。
(30代女性 食品製造卸売業)



吉岡町でブドウや乾燥芋を作っています。ゆくゆくは吉岡町全体で一泊二日の農業体験などができる、吉岡町が目的地になるようなまちづくりに貢献できたらいいなと思っています。
(30代男性 町内農家)

元々前橋でお店をしていましたが、縁があって吉岡で開店しました。当時はバイパスが開通して間もない頃でしたが、あっという間にいろいろなお店もできて発展のスピードに驚いています。これからも長く続けられるように頑張っていきたいと思っています。
(40代女性 飲食業)

障がいのある人の就労支援を行っています。コミュニケーションを取りながらお弁当作りを行っています。みなさんが、早く長く一般の会社で就労することを願っています。
(50代男性 就労継続支援 A 型事業所)